



fuckin', hell, damn
などの汚いスラング
完全解説マニュアル

目次

fuckin'、hell、damn などのスラング解説.....	2
fuckin' (fucking) について.....	2
hell について.....	5
damn について.....	7
その他、よく使われるもの.....	8
どういう人が使う言葉なのか？.....	10
どういう感情のときに使うのか？.....	11
間違えて使うとどうなるのか？.....	12
多用しすぎるとどうなってしまうのか？.....	13
まとめ.....	14

fuckin', hell, damn などのスラング解説

ここでは、ネイティブがよく使うスラング表現 fuckin,hell,damn の3つ使い方についてお伝えします！ネイティブ同士の会話を理解するための知識として知っておくと役立ちますよ。ただ、自分が使うときには、注意が必要なので気をつけて下さいね。

fuckin' (fucking) について

スラングの代名詞といえば fuckin' ですが、fuckin' は名詞や形容詞の前につけて、言葉を強調したいときに使います。

(綴りでは、fucking となりますが、going → goin' と同じルールで "fuckin' " と表すことができます。)

fuckin, hell, damn, 3つの中だと、一番多く使われます。

例えば、めちゃくちゃ寒いときに、「Fuckin cold! (くそ寒い!)」といった具合です。日本語でいう「超 (ちょう)」というニュアンスに近いですね。

本当にいつでも使いますし、特に、学生さんなど若者は無意味に fuckin を連発します。

例えば、コップを見て、「fuckin' cup (このくそカップ)」 とふざけて何にでもつけて、仲のいい仲間内でクスクス笑うとか。そういった使い方は、その人の口癖のような感覚で、この言葉に意味はありません。日本人でも「これマジいいから」「マジ最悪」「マジやばい」など「マジ」を連発して、口癖のように使う人がいますよね？そういう感覚です。

以下に名詞の前につくパターンと形容詞の前につくパターンをあげてみたいと思います。

1. “fuckin'” + 名詞パターン

A: Hey, What's going on? Is everything okay?

(ちょっと、何かあったの？大丈夫？)

B: Yeah, everything is fine. It's just that the fuckin' cup slipped out of my hand.

(うん、大丈夫。ただこのクソカップが手から滑り落ちちゃっただけ。)

2. “fuckin'” + 形容詞パターン

A: Today was supposed to be sunny!

(今日お天気のはずだったのに！)

B: Are you kidding? It's pouring rain and fuckin freezing!

(嘘でしょ？土砂降りだしクソ寒いよ！)

2つのパターンあげましたが、実際、入れる位置も基本的にはどこにでもいれてもOKです。俗語“fuckin'”にルールはほぼありません（笑）

「マジやばい。マジうける。マジ昨日さー・・・」など、特に三番目の場合、「マジ」が入る位置・使われ方を説明することは難しいですね？それと同じです。

とりあえず、例を挙げてみます。

This morning I overslept because my alarm clock was broken, and then I was late for school.

この文章に、入れられるだけ fuckin' を入れるとこうなります。

This fuckin' morning I fuckin' overslept cause my fuckin' alarm clock was fuckin' broken, and then I was fuckin' late for fuckin' school.

名詞の前、形容詞の前、以外にも、Iの後、動詞の前、be 動詞の後につけるパターンもあります。さすがにここまで沢山 fuckin' を一つの文に連発する人はいないと思いますが(汗)

This morning I fuckin' overslept cause my alarm clock was fuckin' broken, and then I was fuckin' late for school.

くらいの事をいう若い人は沢山います。

もちろんこんな話し方をすると、育ちが悪いと思われたり、教養がないと思われまので、使う際には、注意が必要ですね。

本当に、何でもかんでも頭に fuckin' をつけたり、つなぎ言葉として使う人もいます。日本語しかり、英語しかり、どんな言語も変化を続ける過程で俗語＝スラングが生まれて、絶えず変化しているものなので、特に「これ」と決まった使い方はありません。

基本的に英語はリズムカルな言語なので、みんな言い易いように言葉を選んでいる節もあるのではないかな、と思います。

hell について

hell は単体では使わず、what the hell のようにして使います。

使うタイミングとしては、基本的に何か嫌なことがあったときですね。
例えば、雪で車が動かなくなったとか、物を落としたとか…日本語でいう
「あゝ —もう！」とか「こんちくしょう！」といった表現で使われています。

例文)

A: What the hell?!

(もう何よこれー?!)

B: What's wrong?

(どうしたの?)

A: My dog got out of his cage again,

and my room is a mess!

(また犬がケージから出ちゃったみたいで、

もう部屋がめっちゃめっちゃ!)

また、嫌な気分の他にも、最高の感情のときになったときにも使ったりします。

例えば、突然結婚が決まった友人に対して、驚きとおめでとうの気持ちをこめて「What the hell」「まじで！おめでとう」といった感じです。

ですので、最高に楽しいとき、最高に怒ったときなど“感情の起伏が激しいときに使うもの”と覚えておけばよいでしょう。

ただ使うときには、注意が必要です。下品な言葉ですので、先ほどの fuckin’ と同様に、見知らぬ人や子供の前、目上の人がいる場所、仕事場、公の場では使わないようにしましょう。

また、What the hell と言うと下品なので、「What the …」と途中で止めて使ったりする人もます。そうすることで、少し下品さが軽くなります。

damn について

基本的に damn は単体で使いますが、damn it とも言います。damn も damn it も全く同じ意味で、使い方も同じです。

これも hell と同じようなシチュエーションで使いますので、最低の気分するときも、最高の気分するときにも使えます。

例文)

A: Ouch! Damn (it)!

(いてっ！くそっ！)

B: Are you okay?

(大丈夫？)

A: I think I stepped on a thumbtack.

(画鋲踏んだみたい。)

また、男の子がかわいい女の子をみて「やべー！超かわいい」という気持ちのときに「Damn！」と言ったりもします。

最低の感情のときも、最高の感情のときも両方使うと覚えておきましょう。

3つの中では、damn が一番下品さが軽い言葉で、舌打ち程度の軽い感覚です。

ですが、下品な言葉には変わりありません（笑）上記2つと同様に、見知らぬ人の前や子供の前、目上の人がいる場所、仕事場、公の場では使わないようにしましょう。

その他、よく使われるもの

上の3つ意外にも、使用頻度の高いスラングをご紹介しますね。

Thank god

thank god というスラングも使用頻度が高く、
「神様に感謝だね、ラッキーだったね、よかった」という意味で使います。

例文)

A: I heard you were in an accident. Are you alright?

(事故にあったってきいたけど、大丈夫?)

B: I'm fine. It wasn't a big accident at all.

(うん、大丈夫。そんな大きな事故じゃなかったんだ。)

A: Thank god.

(良かったー。)

Oh my god

“Oh my god”も使用頻度が高いです。

「信じられない！／おやっ！／えっ！／しまった！／何てことだ！」

といった驚きを表すときに使われます。

同じ意味で “Oh my gosh” “Oh my goodness” などがあります。

例文)

A : Oh, my God, this is really cute! I love it!

(うわあ、これすごくかわいい！気に入ったわ！)

B : I'm glad you like it!

(気に入ってくれて良かった！)

ただ、これもこれまでのスラングと同様使うときには気をつけましょう。

Oh my god は、冒瀆的な表現です。日本人がこれを言うと、不愉快に感じる人もいます。他のスラングと同様、あまり親しくない人の前や、公の場では、使わないに越したことはありません。

その代わりに、Oh my god と同じ意味で、婉曲表現である“Oh my gosh”や“Oh my goodness”などを使うのは特に問題ないでしょう。

例文)

Oh my gosh! I overslept! (しまった！寝坊した！)

※gosh は God の婉曲表現

Oh my goodness, it started raining!

I gotta close all the windows!

(おやっ、雨降ってきた！窓全部閉めないと！)

※goodness は God の婉曲表現

どういふ人が使う言葉なのか？

基本的には、誰でも使うと考へてもらって問題ありません。

特に学生や若い人たちが多く使う若者の言葉ですので、大人であれば、大げさには使ったりしませんか、感情がヒートアップしてしまつたときに、ポロつと使つてしまつたり、アルコール中毒のおじさんおばさんなどは多用します（笑）

高校生のときは、やたらと fuckin' や damn を使つていたのに、20代後半になつて使わなくなつたとか。10年ぶりに、海外にいる高校時代の友達に会つたりすると、お互い言葉使いがかわつていて、大人になつたなーと感ずるのだそうです。

日本語でも、大人になるにつれて、「マジうける」「マジやばい」といった言葉を使わなくなりますよね。（もちろん大人になつても多用する方もいますが…）

どういう感情のときに使うのか？

基本的にいずれも、いつでも使います。

最高に楽しいとき、最高に怒ったときなど “感情の起伏が激しいときに使うもの”と覚えておけばよいでしょう。

いいことがあって興奮しているとき、腹の立つことがあって、怒っているときなど、エネルギッシュな気持ちのときに使います。悲しいときなど、しとしとした感情の時にはあまり使いません。

またこれらの言葉を汚い言葉だと思っている人が多いと思いますが、日本語でいう「超」という言葉のニュアンスに近いので、特に若い子の間では、いつでも使います。例えば、「これ超いいよね！」とか「マジ最悪！」「マジすごい！」といった感じです。

とはいえ、下品な言葉には変わりないので、気心の知れた友達同士の会話だけにとどめておくのが安全です。

ネイティブも、教育上よくないので、子供の前では使いません。特に女の子の場合は、親から「そんな下品な言葉、絶対に使っちゃダメ！」と注意されるほどです。

ですから、公共の場、仕事の場でも使うのは控えましょう。

間違えて使うとどうなるのか？

「先生に fuck を使ったら停学になった。」

私の知人で、海外留学中に、先生に fuck を使って停学になってしまった人がいます。

(詳しい事情は聞いていないのでわからないのですが、おそらくこの場合、その言葉を言ったから停学になったというよりは、それ以外の理由があったと思われませんが…)

友達同士でも「もう、いい加減にしてよー」というときには、fuck を使ったりしますが、絶対に本気の意味では使いません。

「もう、また言ってんのー、ぶっころすよ」「マジ次遅れたら、ぶっころすからね。」的なニュアンスで使うだけです。

このように、よく使われるスラングですが、言う相手を間違えてしまうと、とんでもないトラブルを招いてしまいます。

とくに、英語が母国語ではない私たち日本人が使うと、「日本人のくせに何言ってるんだ！」「何考えてるんだ！」と、不愉快に感じる人もいます。

さらに、知らない人に上記のような言葉を使ってしまうと、命の危険にさらされる場合もあります。

ですので、まだ使い方がよくわかっていない段階では、こういった言葉を使わないに越したことはありません。使わなくてもすむ言葉ですので、英語を勉強している段階では、くれぐれも使わないようにしてください。

知識として、ネイティブ同士の会話を理解する際に、「言葉を誇張するときに使うもの。感情の起伏が激しいときに使うものなんだ」って言うことは知っておくだけにしましょう。

多用しすぎるとどうになってしまうのか？

あまりに使いすぎると、相手に悪い印象を与えてしまう場合があります。例えば、「この人教養がないんだな」とか「育ちがよくないんだな」と思われてしまうようです。

また、英語ができる日本人から見ても、スラングを覚えたばかりで、うれしくなっていっぱい使っているような人を見かけると、「この人痛いなー」と感じてしまうようです。

覚えたからには、使ってみたい気持ちもわかりますが、使いすぎるのはよくありません。使い方がよくわかっていない段階なのであれば、なるべく使わないに越したことはありません。

あまりお勧めはしませんが、どうしても使いたい場合は、実際に、海外で生活してみて、ネイティブが使うタイミングもわかってきて、自分の英語に自信がもてるようになれば、使っても良いのではないのでしょうか。

まとめ

fuckin、hell、damn などネイティブがよく使用するスラングの使い方を解説してきましたがいかがでしたか？どういう感情のときに使うのか？またその使い方など、細かく解説しましたので、だいぶピンときたのではないのでしょうか。

ですが、初心者のうちは、使わないようにしてください。

なぜなら、これらの言葉は、基本的に下品な言葉ですので、トラブルの元になります。全く知らない人に使うと、命が危ないことさえあります。

海外で生活して、ネイティブが使うタイミングもわかってきて、自分の英語に自信がもてるようになれば、使ってもいい言葉だと思っておいください。

ネイティブでも、あまりに連発して使うと、教養がない人だとも思われてしまいますし、気心のしれた友達同士の会話なら使いますが、教育上よくないので、子供の前では使いません。また、仕事場・公の場でも使わないのがマナーです。

英会話初心者の方は、ネイティブ同士の会話を理解するために、知識として知っておくだけにしておくことをオススメします。

以上、スラングの解説でした。

最後までお読みいただきありがとうございました。

著作権に関する表記

本教材の著作権は、株式会社インフォファクトリーにあります。

著作者の事前許可なく本教材の一部または全部を無料・有料を問わず印刷物、電子ファイル、ビデオ、音声、ホームページ等のあらゆる手段により、複製、流用、転載、配布、公開、転売等することをすべて禁じます。

Copyright(C)2013 株式会社インフォファクトリー